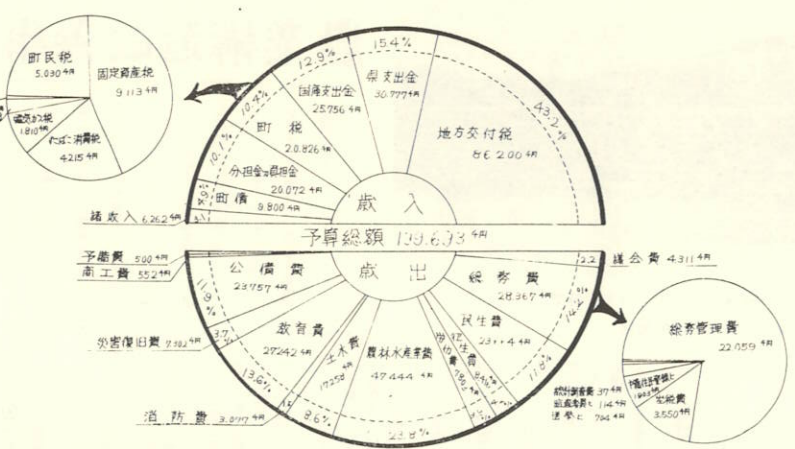


昭和42年度一般会計歳入歳出予算

報伊方町

昭和四十二年度 当初予算

一億九百九十九万円にきまる



昭和四十二年度の町政の大綱をきめる定期町議は、去る三月十一日招集され、八月八日、この日提出された議案は、それぞれ各常任委員会に附され、十八日予算など全議案を原案通り可決しました。

本年度を迎える農業構造改革事業、進それに漁業、港湾の建設が主体となっている。そのほか民生費で、伊方保育所増大、土木費では伊方港部改良事業、教育費で建設給食共同調理場建設が主要な建設費の経費が立っている。本年度予算の概要は上のグラフのとおりであるが概略を説明する。

歳入 町税 二、二〇八万円 町民税 〇、三三三万円 固定資産税 九、二二〇万円、たばこ消費税 四、二二〇万円、電気ガス税 一、八二〇万円などが計上されています。

歳出 教育 児童福祉、失業対策事業、漁業改良、港湾建設、学校給食施設整備などが主である。建設費は、児童福祉費、農業構造改善対策費、漁業改良共同防衛施設費、港湾建設費などが主である。

赤ちゃんコンクール 昭和四十一年生の赤ちゃんを対案に、一七八人が参加し七月十八日十九日の二日間、町見支所、母子センターで開かれた。

青年団球技大会 東青年団優勝 伊方町青年団協議会会長木下力、主幹の昭和四十二年球技大会ソフトボールは、七月十六日伊方小、中両グラウンドに於て十四子チームが参加し開催された。

警察からお知らせ 八月二十日から伊方町、保内町、だしい。電話料はつきりません。この緊急な事件事故は、一〇番へ

町の中小企業振興融資制度できる 企業の運転資金として

町では、伊方町中小企業振興資金の金融制度を設け、町内中小企業の金融難を緩和しその育成振興を図ることになりました。

融資の限度 融資は個人に対しては一〇万円、法人又は組合に対しては一〇〇万円を限度として貸付けられます。

融資の手続きは 法人又は個人にあつては役員の名簿を提出し、個人にあつては名簿以上の確定した通帯保証人を必要とし、所定の申し込み書に必要書類三通を作成し毎月六日までに役員兼課へ申し込みを行なうこととなります。

審査委員(敬称略) 伊方町議会議長 竹嶋兼男 副議長 菊池武雄 審査委員長 兵頭三郎 副委員長 山下 宇八 伊方町商工会長 松田十三三 伊方町商工次長 市本 誠 伊方町指導員 山本 長松 伊方町助役 大木 角夫 伊方町収入役 城岡 武夫 伊方町伊方支店長 岡崎 春生 伊方町伊方支店長 日高利春 伊方町産業課長 畑本 直隆 伊方町伊方支店 菊池 武

今年も大成へ済生丸入港 半島の巡回診療に 医師に恵まれない地域や、鳥嶋 成富港に於て内科、外科、婦人科部に対する巡回診療として、過去 耳科にわかれ検査が実施されました。

犬は毎月「十五日」に集めます 野犬の多いところは、やむを得ず、特に野犬に咬まれた特等、もしやあつては狂犬病に罹りかねない心配があります。



歳入 町税 二、二〇八万円 町民税 〇、三三三万円 固定資産税 九、二二〇万円、たばこ消費税 四、二二〇万円、電気ガス税 一、八二〇万円などが計上されています。

歳出 教育 児童福祉、失業対策事業、漁業改良、港湾建設、学校給食施設整備などが主である。建設費は、児童福祉費、農業構造改善対策費、漁業改良共同防衛施設費、港湾建設費などが主である。

赤ちゃんコンクール 昭和四十一年生の赤ちゃんを対案に、一七八人が参加し七月十八日十九日の二日間、町見支所、母子センターで開かれた。

青年団球技大会 東青年団優勝 伊方町青年団協議会会長木下力、主幹の昭和四十二年球技大会ソフトボールは、七月十六日伊方小、中両グラウンドに於て十四子チームが参加し開催された。

警察からお知らせ 八月二十日から伊方町、保内町、だしい。電話料はつきりません。この緊急な事件事故は、一〇番へ

犬は毎月「十五日」に集めます 野犬の多いところは、やむを得ず、特に野犬に咬まれた特等、もしやあつては狂犬病に罹りかねない心配があります。



